

令和5年（2023年）の岩手山の火山活動

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○ 噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2023年の発表履歴

2023年中変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）
------------	----------------------------

○ 2023年の活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図1～9、図10-①⑤）

柏台監視カメラによる観測では、黒倉山山頂からの噴気は20m以下で経過し、岩手山山頂と大地獄谷の噴気は観測されず、噴気活動は低調に経過しました。黒倉山監視カメラによる観測では、大地獄谷で弱い噴気が認められました。大地獄谷及び黒倉山の地熱域に特段の変化は認められませんでした。

2月及び4月に陸上自衛隊東北方面隊、岩手県の協力により実施した上空からの観測では、岩手山山頂、黒倉山山頂、黒倉山東側崖面、西小沢及び大地獄谷の噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした。7月に岩手県と合同で実施した現地調査では、大地獄谷の噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした。

・ 地震や微動の発生状況（図10-②～④⑥、図11）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図12、図14）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています。

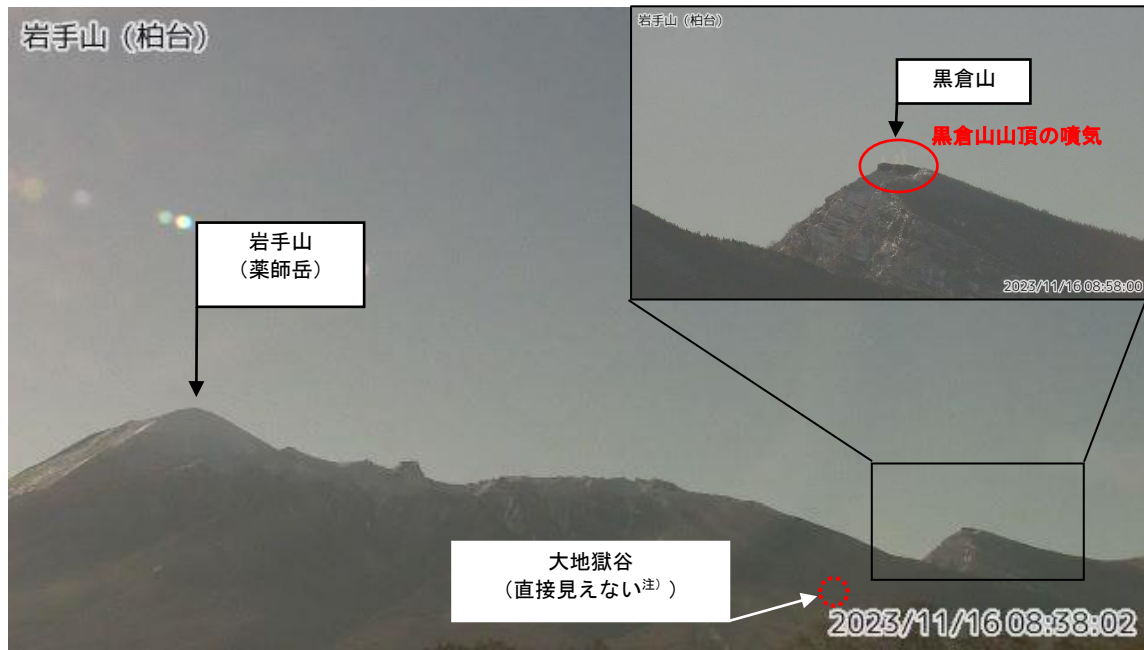


図1 岩手山 山頂部から黒倉山周辺の状況 (11月16日)

- ・ 柏台監視カメラ (黒倉山山頂の北約8km) の映像です。
- ・ 注) 大地獄谷からの噴気は、高さ200m以上のときに柏台監視カメラで観測されます。赤破線が大地獄谷の位置を示します。

黒倉山山頂の噴気は20m以下で経過しました。
 岩手山山頂及び大地獄谷の噴気は認められませんでした。

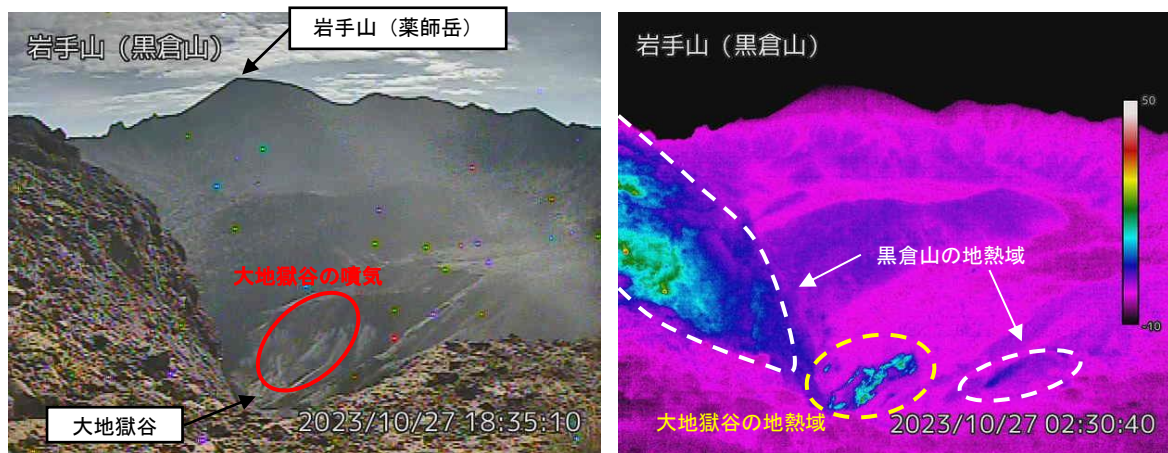


図2 岩手山 黒倉山監視カメラからの状況と地表面温度分布 (10月27日)

- ・ 黒倉山監視カメラ (大地獄谷の西約500m) の映像です。

大地獄谷で弱い噴気が認められました。
 大地獄谷及び黒倉山の地熱域に特段の変化は認められませんでした。

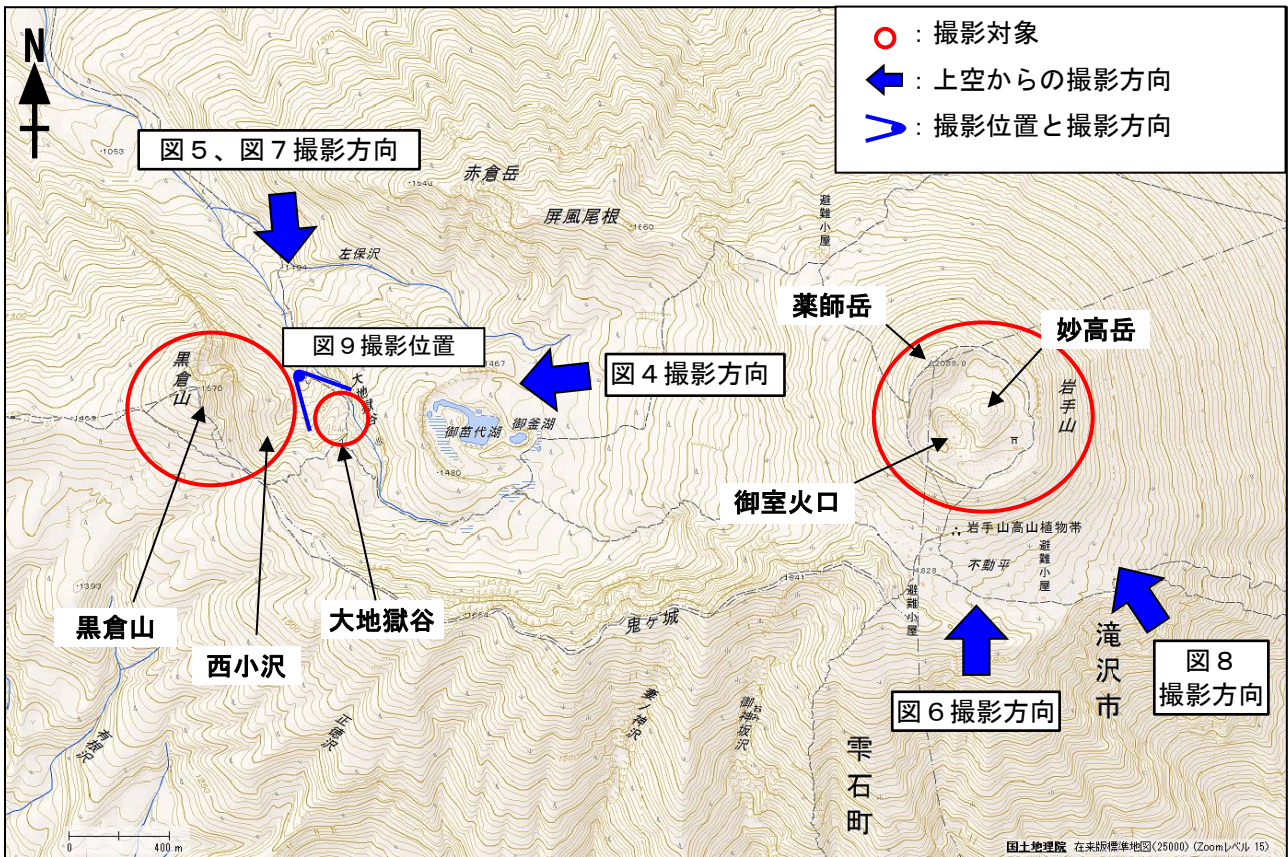


図3 岩手山 写真と地表面温度分布の撮影対象及び上空からの撮影方向

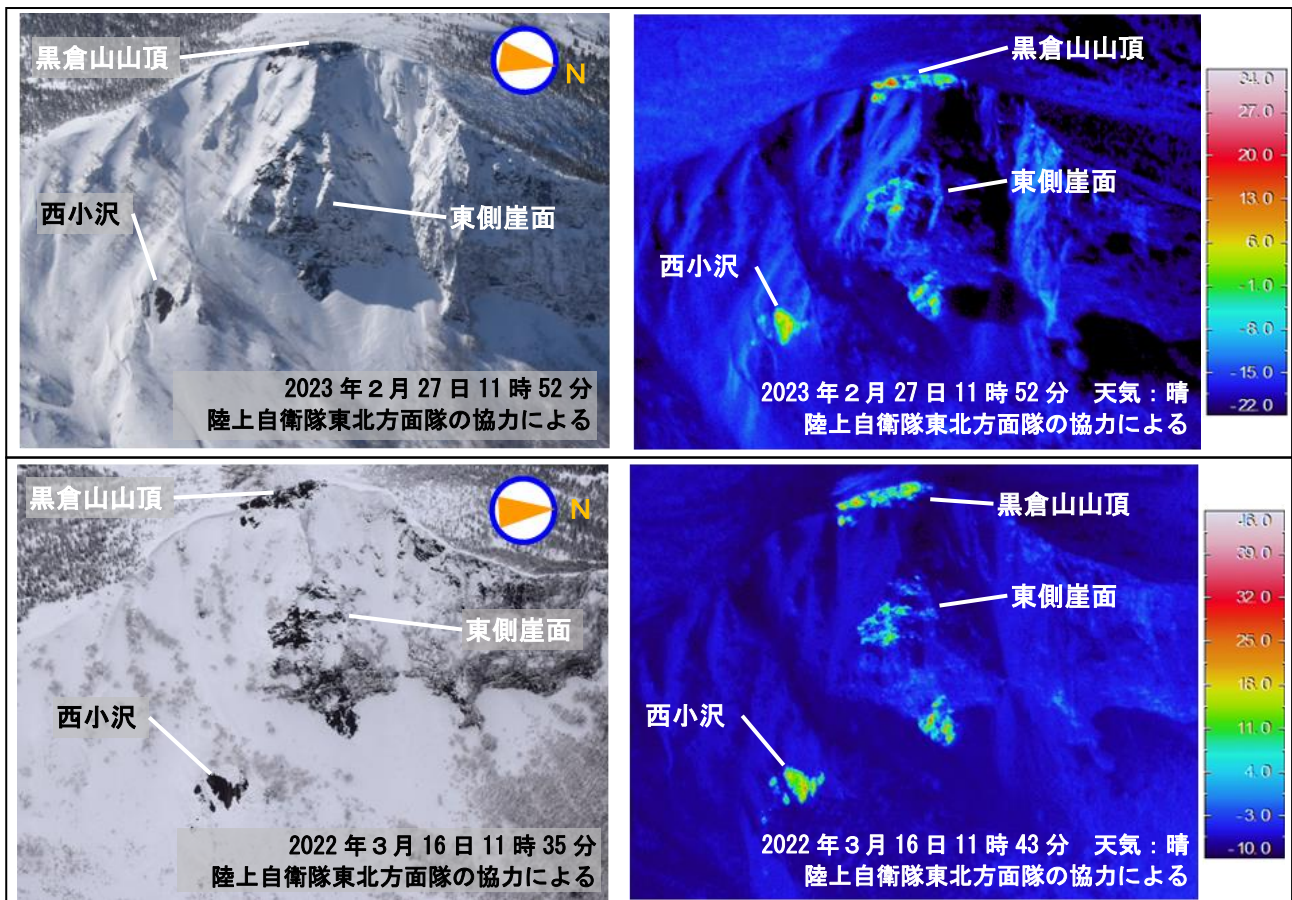


図4 岩手山 上空からの黒倉山の状況と地表面温度分布

前回の観測と比較して、噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした。

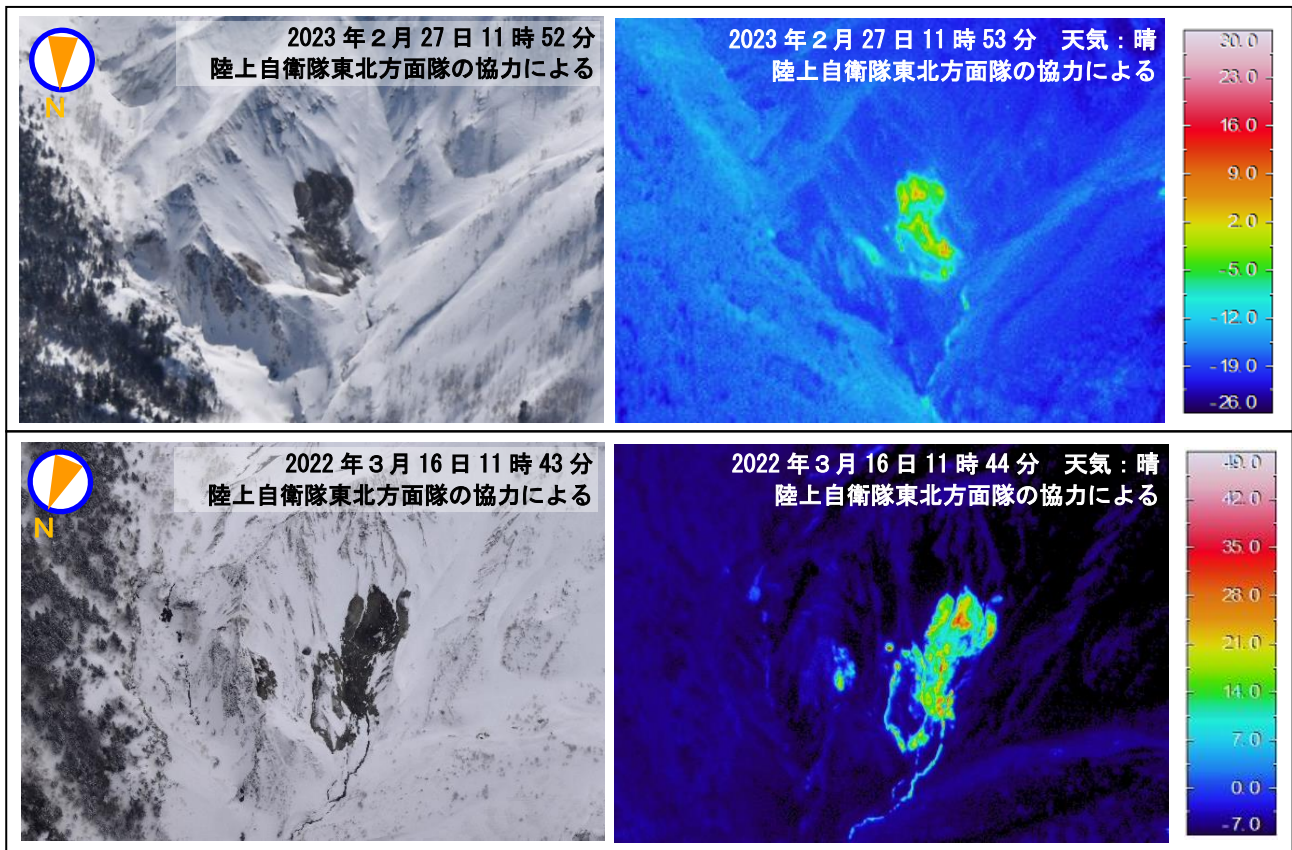


図5 岩手山 上空からの大地獄谷の状況と地表面温度分布

前回の観測と比較して、噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした。

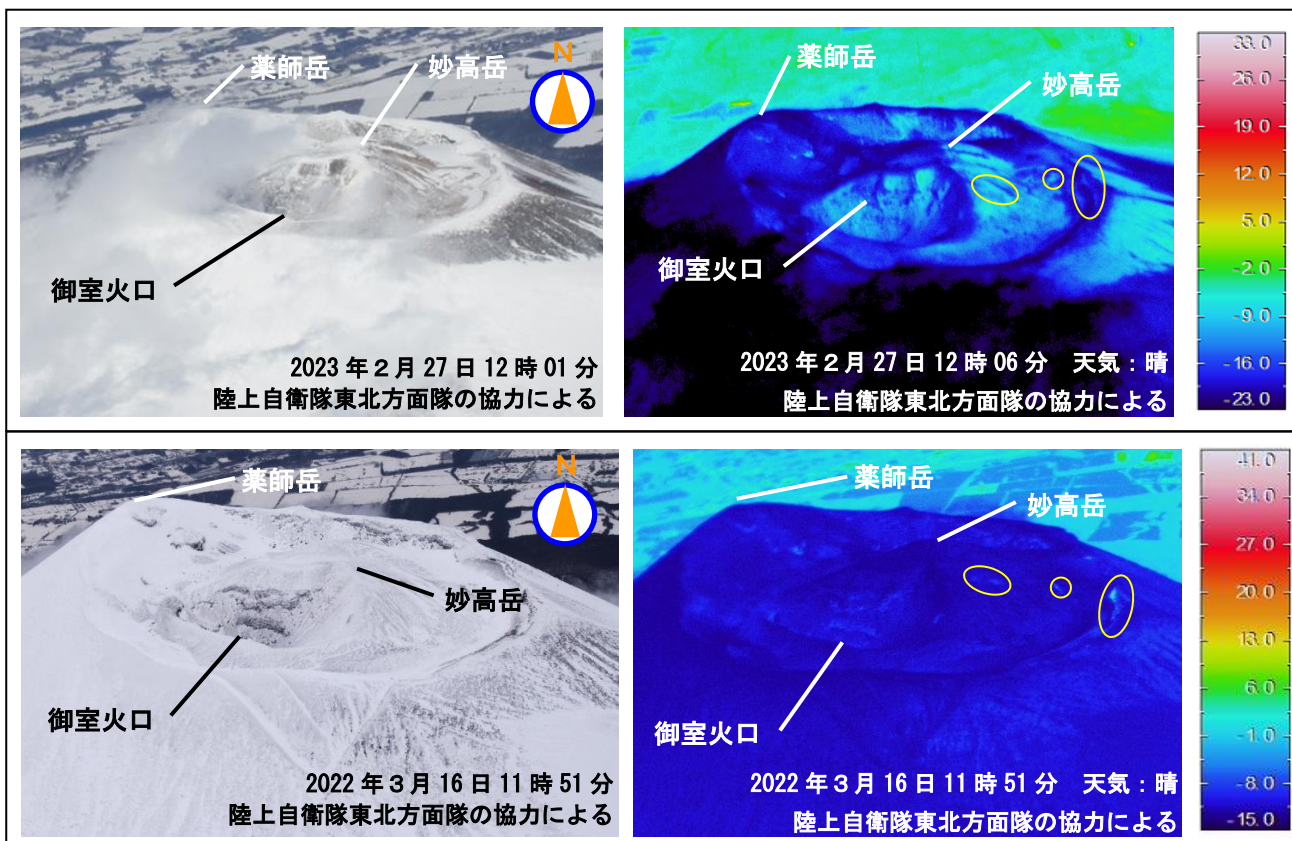


図6 岩手山 上空からの岩手山山頂の状況と地表面温度分布

地熱域（黄丸）の状況に特段の変化は認められませんでした。

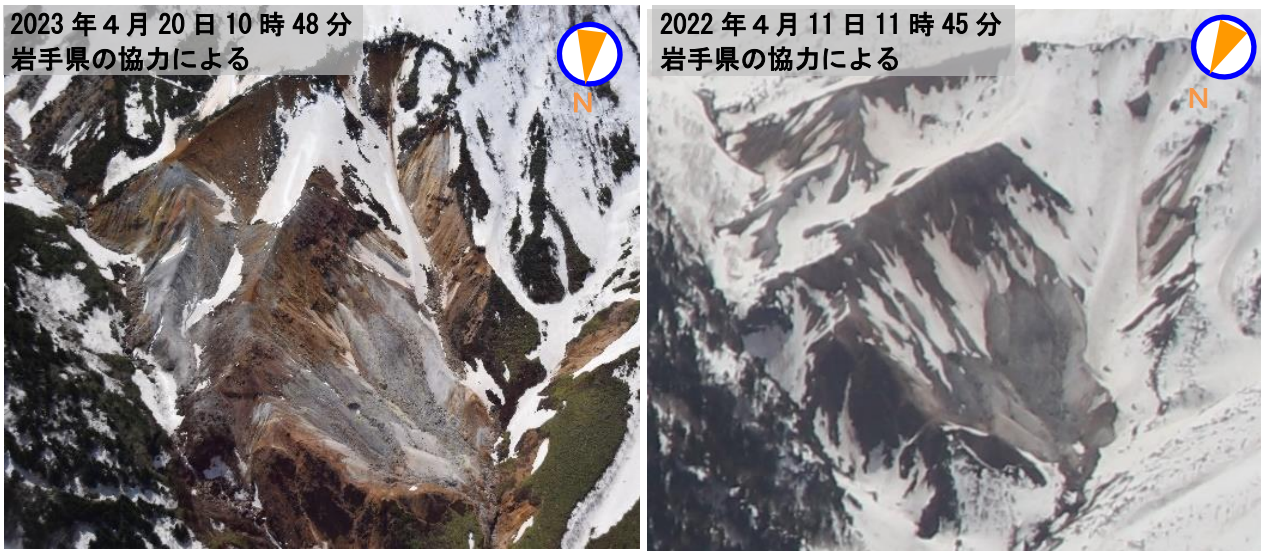


図7 岩手山 上空からの大地獄谷の状況

大地獄谷では特段の異常は認められませんでした。

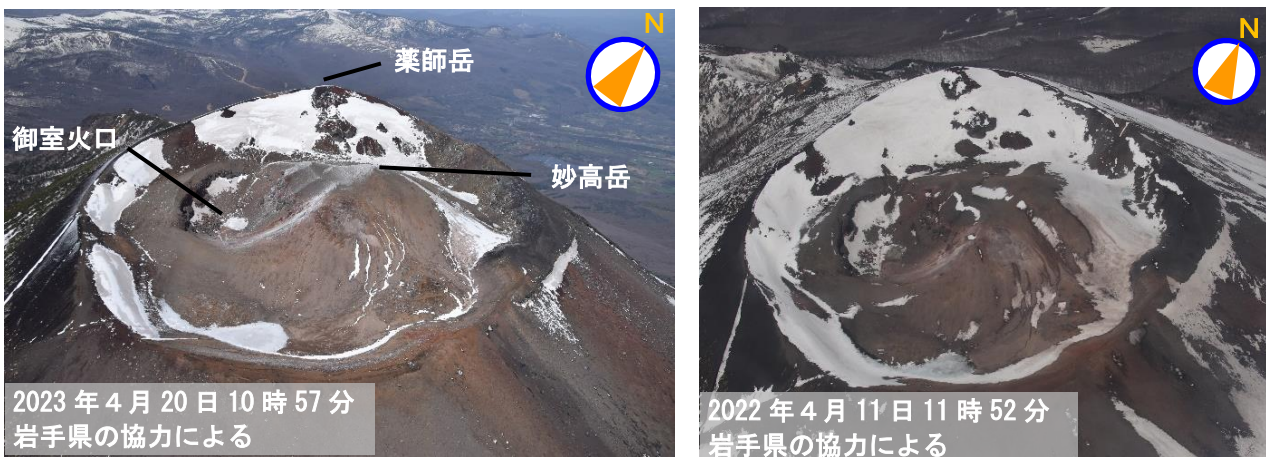


図8 岩手山 上空からの岩手山山頂（東岩手山）の状況

岩手山山頂では特段の異常は認められませんでした。

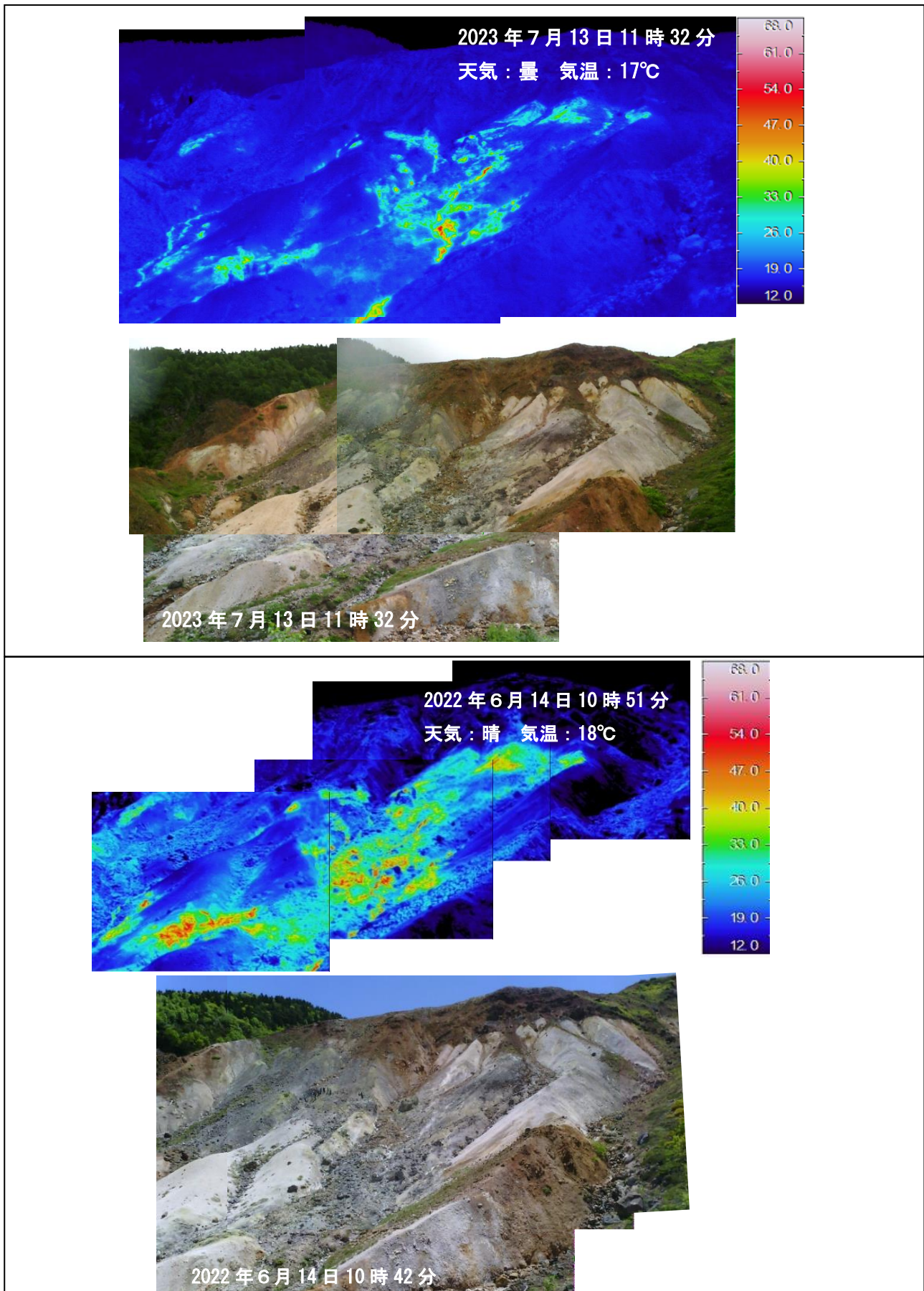


図9 岩手山 北西から撮影した大地獄谷の状況と地表面温度分布

※日射の影響により、裸地等では表面温度が高めに表示されています。

前回の観測と比較して、噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした。

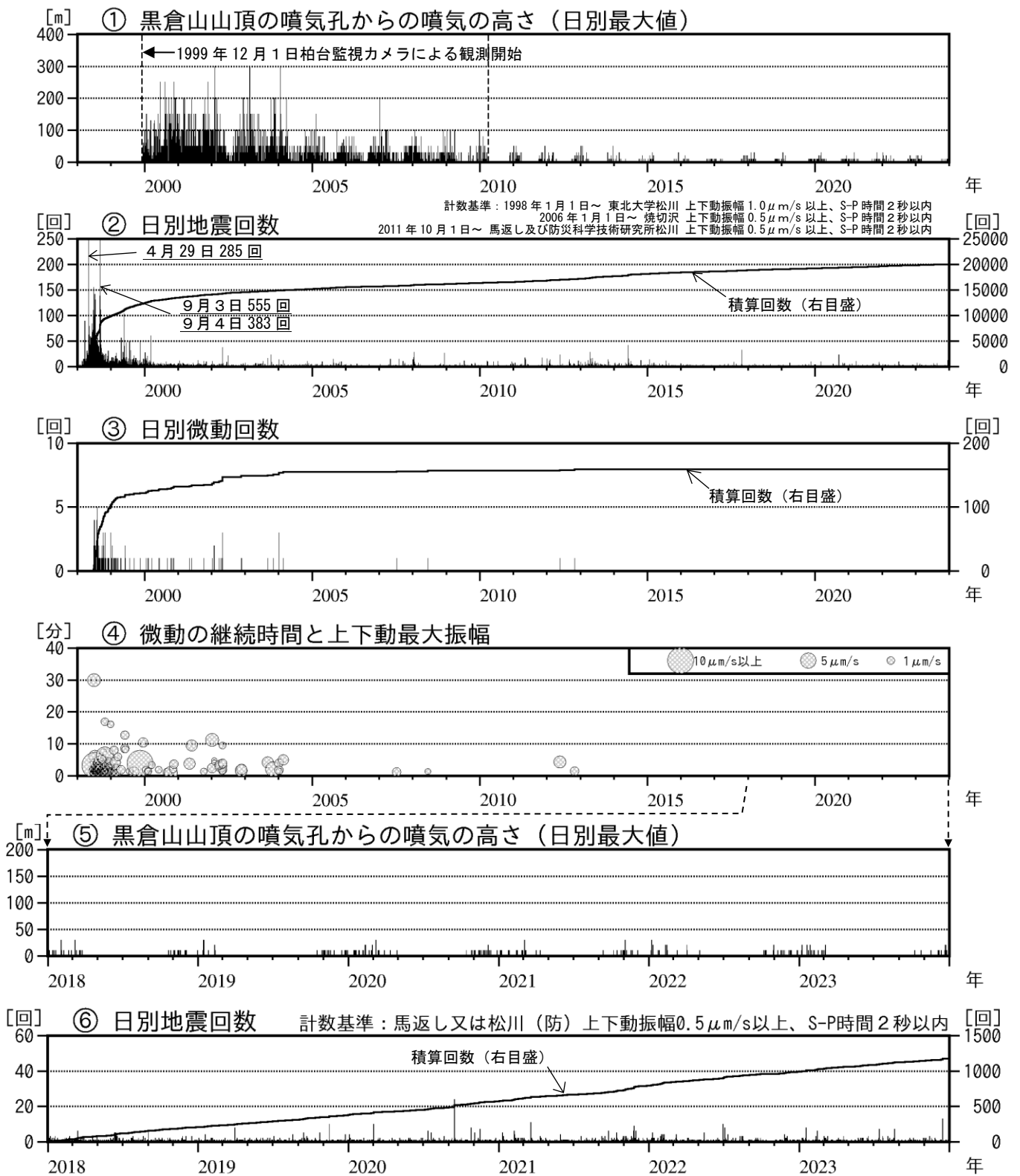


図10 岩手山 火山活動経過図（1998年1月～2023年12月）

- ・ ①⑤2010年3月までは黒倉山のみを観測値を、2010年4月1日以降は岩手山全体の観測値を示しています。
- ・ ②2000年1月以降は滝ノ上付近の地震など山体以外の地震を除外した回数です。（1998年から1999年までは滝ノ上付近の地震など山体以外の地震を含みます）

各観測データに特段の変化はみられず、静穏な状態で推移しています。

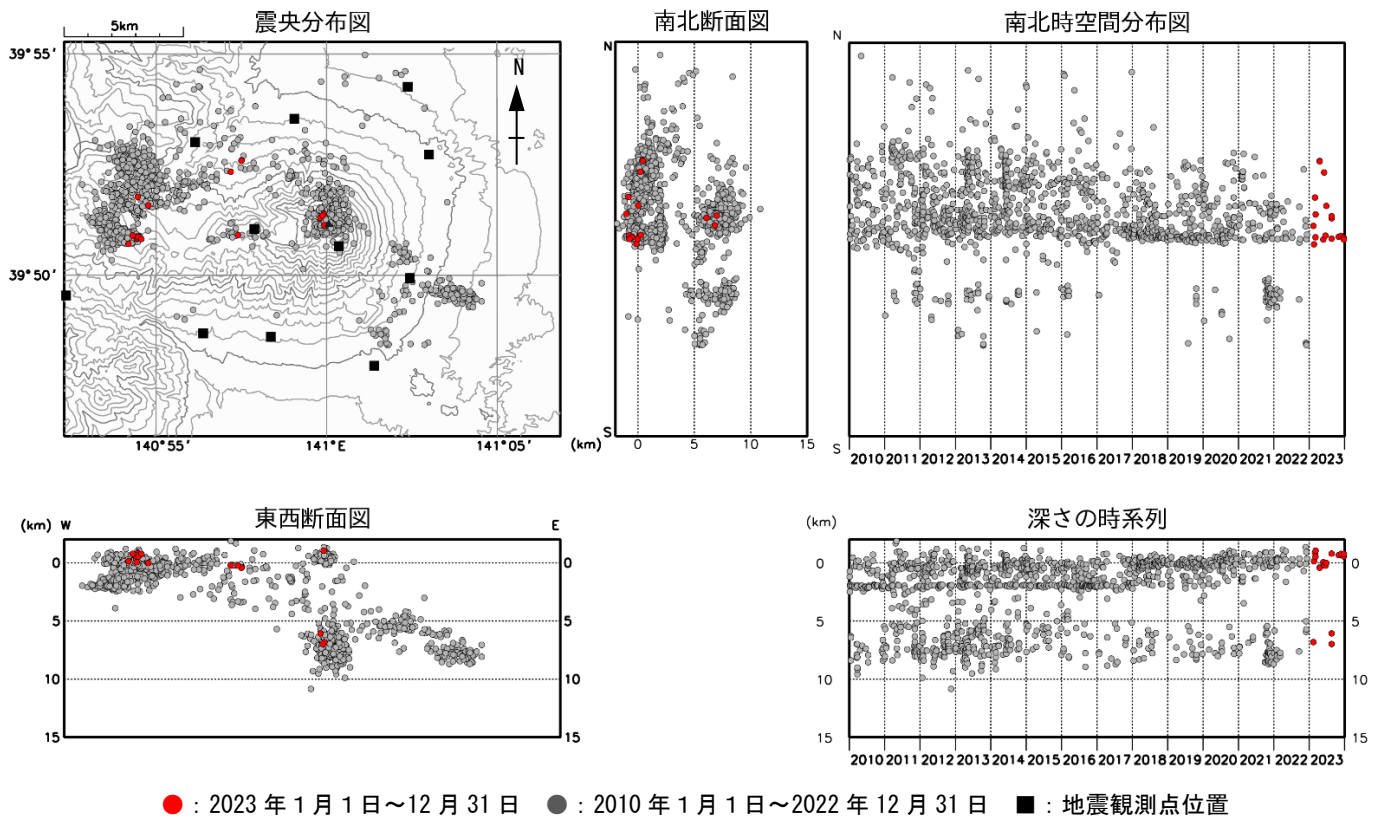


図11 岩手山 地震活動 (2010年1月~2023年12月)

火山性地震は概ねこれまでと同様の領域で発生しました。
火山性微動は観測されませんでした。

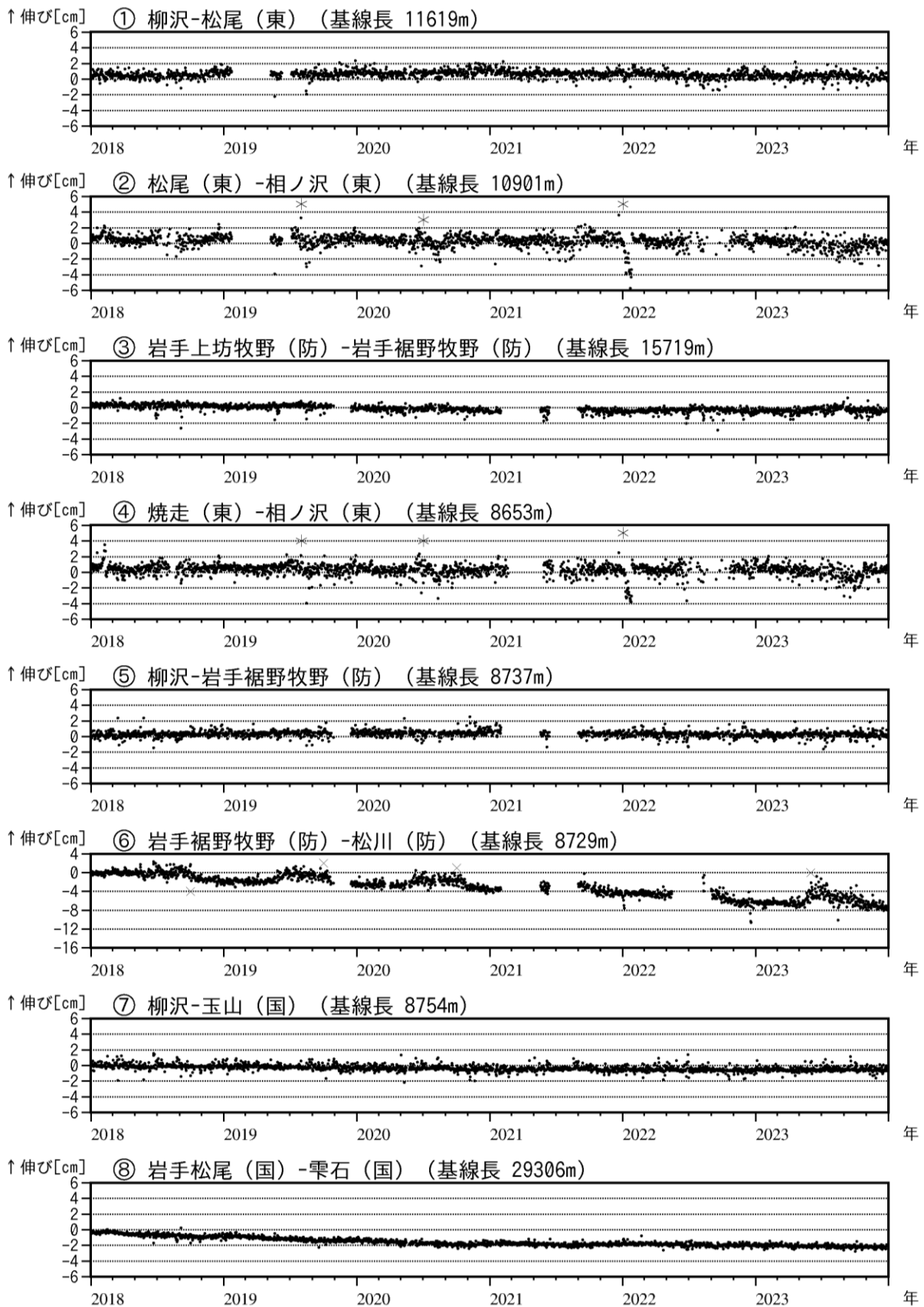


図12 岩手山 GNSS 基線長変化図 (2018年1月~2023年12月)

- ・①~⑧は図14のGNSS基線①~⑧に対応しています。
- ・空白部分は欠測を示します。
- ・(国)は国土地理院、(東)は東北大学、(防)は防災科学技術研究所の観測点を示します。
- ×：松川(防)観測点に起因する変化で、火山活動によるものではないと考えられます。
- *：相ノ沢(東)観測点に起因する変化で、火山活動によるものではないと考えられます。

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

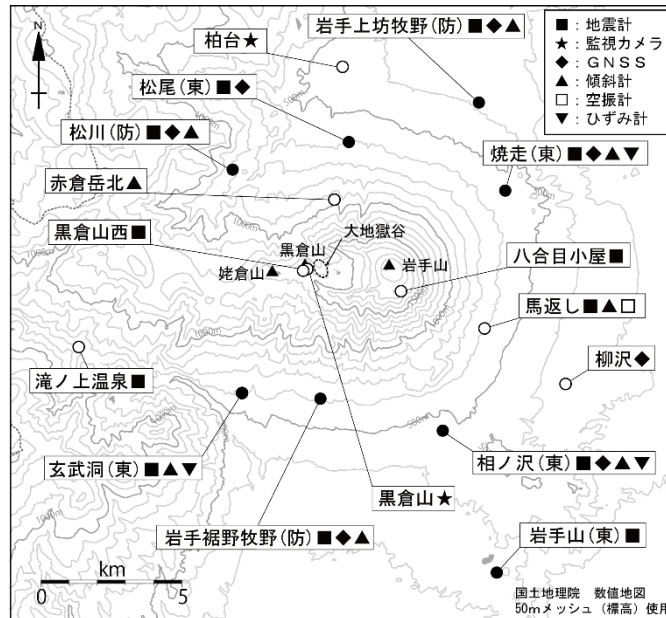


図13 岩手山 観測点配置図

白丸(○)は気象庁、黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (東)：東北大学 (防)：防災科学技術研究所

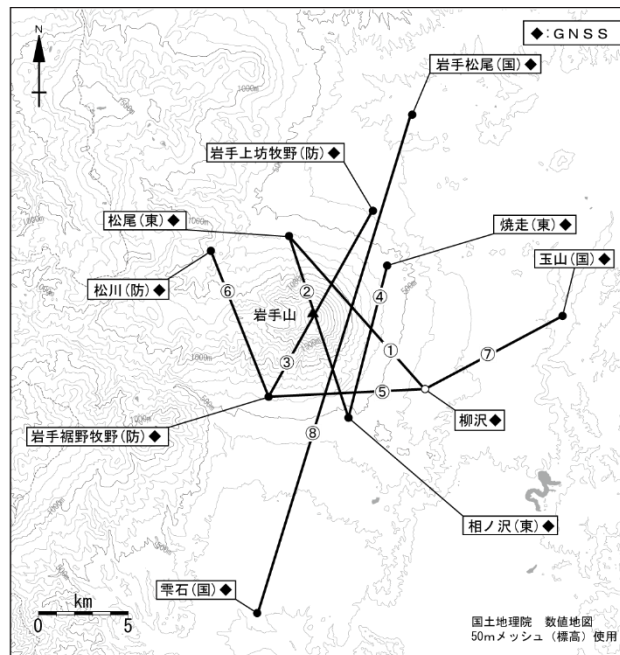


図14 岩手山 GNSS 観測基線図

白丸(○)は気象庁、黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国)：国土地理院 (東)：東北大学 (防)：防災科学技術研究所

表1 岩手山 気象庁観測点一覧

観測種類	観測点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		北緯	東経	標高(m)			
地震計	馬返し	39° 49.94'	141° 02.45'	608	-88	2010.09.01	
	八合目小屋	39° 50.66'	141° 00.36'	1768	0	1998.05.15	
	滝ノ上温泉	39° 49.54'	140° 52.36'	629	-1	1999.07.28	
	黒倉山西	39° 51.05'	140° 57.88'	1505	-2	2016.12.01	広帯域地震計
空振計	馬返し	39° 49.94'	141° 02.45'	608	4	2010.09.01	
傾斜計	馬返し	39° 49.94'	141° 02.45'	608	-88	2011.04.01	
GNSS	赤倉岳北	39° 52.44'	140° 58.67'	958	-15	2016.12.01	
	柳沢	39° 48.86'	141° 04.47'	361	4	2010.10.01	
監視カメラ	柏台	39° 55.02'	140° 58.88'	452	5	1999.12.01	
	黒倉山	39° 51.09'	140° 58.02'	1565	1	2016.12.01	可視及び熱映像